



冬場に向けて完成した屋内練習場

# 冬場の鍛練不足を解消

## マウンドも3基

金沢学院大学、金沢学院短期大学、金沢東高校の屋内練習場は十二月一日、第二体育館横の学生駐車場の一角を敷地として完成し、硬式野球部が同日の練習でさっそく使用を開始しました。

屋内練習場の建屋は、鉄骨造り平屋建てで、縦四十メートル、横二十六メートル、屋根の最高部で八・九メートルあります。床面には人工芝を張り、投球練習用マウンド三基を備えています。

## 屋内練習場が竣工

感触いい人工芝

す。天井と四方の壁、および打撃練習スペースと投球練習スペースの区切りには防球ネットを張り巡らせて安全性に配慮したほか、ロッカールーム、器具庫も備えています。

一日に行われた竣工式では、安全な部活動を祈願して宮司が祝詞を奏上し、上山夏樹副理事長、石田毅士郎金沢東高校長、平井敦夫体育支援室長・教授が玉くしをささげました。

## 秋成の「古代像」に迫る

### 山下文学部教授が新著

金沢学院大学の山下久夫教授はこのほど、新著『秋成の「古代像」』（森話社刊）を発行しました。江戸時代の国学者で、『雨月物語』、『春雨物語』の著作で知られる上田秋成の描いた

「古代像」を従来にない新しい視点で分析した書です。

山下教授は、上田秋成の万葉評釈に関わっているうちに、秋成の描いた理想の古代像のあり方も含め、彼にとつての古代とは何だったのか、秋成は古代をどう語ったのかという問題から抜けられなくなつたのが著作のきっかけ」と話しています。



山下教授の著書「秋成の「古代像」」



## CGの将来像など展望

美術文化学部公開講座 第2回情報デザインシンポジウム

金沢学院大学美術文化学部の公開講座「第二回情報デザインシンポジウム」は十二月四日、四号館講堂で開かれ、参加者は「デザイン・アート・エンターテインメントのかたち」のテーマで、教育、企業の現場において、CGの将来像などを展望しました。

石川県立工業高校の水井恵教諭がデザイン教育における生徒の意識づくり、金沢倶楽部出版企画部長で、本学卒業生の丹羽麻理さんが雑誌のデザインと編集の試行錯誤などについてそれぞれ講演しました。

大場吉美美術文化学部教授は、これまで携わってきた多彩なイベント企画をビデオで振り返りながら、「デザインそのものをもっと深く知ることの大切さを知った」と話しました。草原真知子早稲田大学文学部教授は、最近の映画や国際的なCGアニメ作品を紹介し、異分野間のネットワークの必要性を説きました。



情報デザインの今後を展望する参加者。4号館講堂

## 情報教育をテーマに合同研究会

本学サテライト教室 金沢市香林坊の金沢学院大学大学院サテライト教室で十一月二十日、情報処理学会「コンピュータと教育」、電子情報通信学会「教育工学」、教育システム情報学会「CTを利用した新しい学習環境のデザイン」の三研究会が、「情報技術

を活用した教育システムおよび情報教育」の共通テーマで合同研究会を開きました。写真。

全国各地から大学教員や院生、企業の研究者ら七十六人が参加しました。本学からは樋川和伸、中西一夫、岡田政則の三教授が携帯電話を活用した授業など二件の発表を行いました。

発行・広報室